

真夏の夜の浄土 at 西方寺

舞踏派ZERO [♯] × トマソンス [♯] + 1



2018年8月19日(日) 17:30 開演

予約 2,000円 当日 2,500円 1drink 付

東京都豊島区西巣鴨 4丁目8-4 2
西方寺 (納骨堂建築現場)

未完のコンクリート建築の納骨堂をステージに
舞踏と即興音楽が交錯する真夏の魍魎ナイト

トマソンス



阪本テツ

ジョヴァンニ
スキアリ

ひだまなぶ



Photo by 異空間亭写落

舞踏派 ZERO [♯]

楠田健人

筆宝ふみえ

Photographed by GIN SATOH

∞ご予約・お問合せ∞

E-mail:doricelphy629@ezweb.ne.jp Tel:090-5532-8733 佐藤

舞踏派ZERO

真夏



唐・赤兒 率いる大駱駝艦のメンバーであった楠田健人と筆宝ふみえが、1989年前身である「ダイナマイト・キス」結成し「D・Kパフォーマンス」旗揚げ、パフォーマンスライブ、スペイン1ヵ月間巡回野外&路上パフォーマンス(1995年「セビリア/グラナダ/ロンダ」を行う。全粉シヨウでは日本全国を回る

1991年 浅田修生ソロ公演「バルマコス」(東京・月三郎座敷)に客演
1995年 「舞踏派ZERO」結成
1996年 旗揚げ公演「クラムボンの冒険」(武蔵野芸能劇場)
2002年 「青天に盛典」(1月 武蔵野芸能劇場) (9月 麻布die pratz)
2015年 「実生ひ」/「MA・MA・GO・TO 慶真語部」/「蓮の花咲く庭黄金の泥、笑う蓮」/「いと」と「ハルバルト」と五作品を発表。

2016年 「スープ SOUP 空[zero]をかきまぜる」を発表 この作品は[舞踊批評家協会/Dance Critics Society of Japan]第48回(2016年度) 舞踊批評家協会賞 舞踊批評家協会新人賞受賞

2014年からは「かつしか動物公園」(自称アバンギャルドジャズフォーク集団)とのコラボレーションも行っており、2014年の我孫子国際野外美術展参加作品「沼の一步」、2015年の柏市(柏祭り)、コラボレーションライブ「ハルバルト」、2016年我孫子国際野外美術展参加作品「森の中へ」を発表、2017年11月にも我孫子国際野外美術展参加予定。「スープ SOUP 空[zero]をかきまぜる」では園長のひだまなぶとのコラボレーションも実現

2017年 「ブラック・ダイヤモンド」を発表

楠田健人(くすだけんじん)

北九州 小倉生まれ

1980年代半ば、民族ロックバンド、パフォーマンス、ロックンロールバンドでライブハウス、フェスティバルなどに出演を重ねるなか、大駱駝艦と出会い、唐赤兒のもとで舞踏を始める。

1990年代には宇野薫「HOT KEY」北中米ツアー(1992年)/ブラジルツアー(1993年 剣持彰/原田拓巳/北岡康弘らと)参加

1998年 楠田健人ソロライブ「ギャングスター」を行う

筆宝ふみえ(ひっぽうふみえ)

山形県 小国町出身。宮城教育大学在学中に当時非常勤講師であった竹内敏晴氏と出会い、衝撃を受け、大学卒業後に「からだことばの研究所」入所。ここでの経験により「からだの表現」に目覚める

1985年 大駱駝艦入団、唐赤兒に師事。1989年退団、退団後も1997年まで国内外の公演に客演を続ける。楠田健人と共に、ダンスユニット「月の庭」に参加。1995年~1998年に野外パフォーマンスを始め多数行う

1993年 工野黄市 哈爾派の「記憶の果実」バリ公演に客演

夜の浄土 at 西方寺

西方寺で現在建設が進む納骨堂。モダンなコンクリート造のその躯体には、納骨スペースとなる正方形のグリッドがずらりと並んでいる。住職はここに各人が思い思いのイメージをはめ込むことを想定しているという。ちょうど正方形のレコードジャケットのように。

真夏の夜の浄土 at 西方寺の公演は、建設途上のこの納骨堂がステージ。まだ形を成さないむき出しのコンクリート構造物に覆われた場所で、舞踏派ZEROの身体表現とトマソンス+1の即興音楽が交錯する。まさに、この夏にしか体験できない空間と表現者たちのコラボレーション。

かつて前衛芸術家・赤瀬川原平が「超芸術トマソン」なる概念を創出した。ただ、上っただけの階段・コンクリートで塗りこめられ出入りができなくなってしまった門・2階にあるのに空中にしか出られないドア。街のなかに顕現した所有者の意図せざる「思念」を帯びた物件の発見は、芸術を超えた「超芸術」を産み出した。その当時、読売巨人軍の助っ人外国人選手として豪快に空振り三振を記録したゲーリー・トマソン。彼の名にあやかり、街の無意識的無用の長物物件は、「超芸術トマソン」と命名され、後に路上観察学会の創立に至る。

時を経て、テツとジョヴァンニはWEB上の仮想空間で美術愛好家同士として出会った後、お互いが音曲をなすことを知り、器楽演奏のユニットを結成。奇しくも共に路上観察の仇であったことに由来し、「トマソンス」の名で演奏活動をスタート。爾来、即興演奏を主体に音楽における「無意識」の表出を追求している。

2008年(トマソンス結成前)

東京都現代美術館 川俣正「通路」展にてテツとジョヴァンニが演奏

2011年(トマソンス結成後)

横浜トリエンナーレの毛原大樹「最後のテレビ」に出演

2016年

横浜市民ギャラリー「美の精緻たち」で演奏

銀座のK'sギャラリー「上野謙介/石黒隆宗 Korea Triumphant」で演奏

横浜・日ノ出町のJAZZ FIRSTでライブを実施

2017年

横浜市民ギャラリー「美の精緻たち」で2回目の演奏

藤沢の太陽ぬ荘にて映画への音楽提供としてスタジオ録音

JAZZ FIRSTで2回目のライブ

横浜・白楽のピッチェズ・ブルー「庄田次郎 10 Days with トマソンス」に出演

浦賀のギャラリー時舟「時空の時舟展III」にて舞踏家の万城目純、広岡愛とコラボレーション

JAZZ FIRSTで「サファリパークDuo」と共に3回目となるライブ

新宿の小劇場・シアターPOOでライブ

下田で開催された「スピリッツ・リジョイス」(庄田次郎主催)に出演

ピッチェズ・ブルー「庄田次郎 with トマソンス」に出演

シアターPOOで2回目のライブ

2018年

初のCD「Assemblage」(アッサンブラージュ)をリリース

ホテルニューオータニ「現代日本の芸術市場」の「表現者と新年を祝う宴」および「芸術奇席」に出演

JAZZ FIRSTでトマソンスのCD発売記念として4回目のライブ

ギャラリー成瀬17「弥生の会」でアート作品を観ながらリアルタイムに即興を展開

シアターPOOで3回目となる「トマソンス+庄田次郎×かつしか動物公園」ライブを実施。

JAZZ FIRSTでシャントドラゴン(金剛督×林あけみ)のライブにゲスト出演

鎌倉のギャラリー沼山 由比が浜「漆黒と錆」で演奏

阪本テツ(アルトサクソフ/ソプラノサクソフ/バスクラリネット)

早稲田大学モダンジャズ研究会にてアルトサクソフをはじめ、在学中よりフリージャズに傾倒。即興と構築性を共存させたポスト・フリーを目指す。その後UNI(Unit of noisy improvisation)や特殊ロックバンドNELLホーンセクションで活動。ブランクを経て、横浜でZAIMセッションに参加。横浜トリエンナーレ集団即興演奏や川俣正通路展に加盟する。2011年5月、盟友ジョヴァンニ・スキアリとトマソンスを結成。ソプラノサクソフ・バスクラリネットなどマルチリード奏者としての表現を模索している。

ジョヴァンニ・スキアリ(チェロ/ピアノ)

幼少よりピアノのレッスンを受け、作曲・編曲とアエロを独習する。前衛音楽のコンサート「派会」にて環境音楽家の故・吉村弘氏と共演する。その後、横浜の「創造界隈ZAIM」を拠点とする即興集団のメンバーとして活動する。ZAIM閉館後、同メンバーの一人・阪本テツと即興ユニット「トマソンス」を結成し、現在に至る。主要作品:チェロとピアノのための「ロンド」、ピアノ連弾のための音画「山鳥の宴」。

GUEST ひだまなぶ(低音)

1973年12月25日生 東京都出身 思春期から音楽に興味を持ち始め楽器を始める

2000年 アバンギャルドジャズフォーク集団「かつしか動物公園」結成

「クワンソニココ共和国」共同メンバー(2011脱団)

舞踏派ZEROとかつしか動物公園のコラボレーションでは

2014年「沼の一步」/2015年「ハルバルト」/2016年「森の中へ」/2017年「WA・HA・HA」参加

2016年「スープSOUP空[zero]をかきまぜる」ではひだまなぶ個人で参加

2018年8月19日(日) 開場 17:00 開演 17:30

予約 ¥2,000 当日 ¥2,500 【1drink付き】

予約方法 電話 090-5532-8733 (佐藤)

E-mail dorichelphy629@ezweb.ne.jp

予約時にご連絡ください。①お名前 ②人数 ③電話番号(当日ご連絡可能な番号) ④メールアドレス(E-mail予約の場合)

受付: 黒井曉子
会場整理: 関口果耶
PA 機材: 横浜ベイサイドネット
会場提供: 西方寺



西方寺(納骨堂建築現場)
東京都豊島区西巣鴨4丁目8-42

